

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成30年12月度 番組審議会概要

平成30年12月13日（木）

14時00分～

テレビ静岡本社 4階 会議室

－ 出席委員 －

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 東松 充憲 海野洋平

－ 議 題 －

番組名 「THIS IS 中村俊輔 ～語り尽くす40歳の本心～」

放送日時 平成30年12月2日(日) 24時30分～25時25分(55分)

テレビ静岡発 フジテレビ系全国28局ネット番組

制作著作 テレビ静岡

－ 番組内容 －

日本サッカーの伝説的な選手のひとり中村俊輔。左足から放たれる芸術的なシュートが持ち味で、若き日から日本代表で活躍し、横浜Fマリノスを振り出しにセリエA・レッジーナやスコットランド・セルティックなどを通じて世界の表舞台も経験した。現在はJ1ジュビロ磐田でエースナンバー10番を背負う彼も今年40歳、年齢の壁と戦いながら、現役生活の継続に拘っている。少しでも良い状態を保つために、大好きな練習時間も減らし、一本一本に集中する。メンテナンスのマッサージは欠かせない。ノートは「心を整えるため」にしたためる。それでも、長年の疲労の蓄積から身体は悲鳴を上げ、軸足となる右足はいよいよ手術が必要な状況に。「老いとのリレンマ」を抱えながら「敵にも教える」のはなぜなのか、40歳は成長するのか。懐に飛び込んだ取材陣の質問に、中村本人の口から様々な真実が語られる。

— 審議概要 —

- ◎全体を通して中村選手の様々な言葉が引き出されていて印象的に伝えられていた。
- ◎中村選手はシャイな人柄で決して話し上手ではないが、人間的な魅力が感じられた。
- ◎中村選手は決して天才ではなく、努力の積み重ねでそう呼ばれたことがわかった。
- ◎挫折をバネに研究を繰り返して、スタイルを変えてでも乗り越えようとする中村選手の真摯な姿が描かれていた。
- ◎自主トレで「得意なことと苦手なことを同時にやる」と必要なことが見えてくるシーンは、ビジョンを描き足りないギャップを埋めてゆく課題解決方法で素晴らしい。
- ◎サッカー以外でも、「壁にぶつかった人」に対してよいアドバイスになる。
- ◎「テレビ寺子屋」の講師をしてもらってはどうか。
- ◎レスター・岡崎選手との絡みでは、2018年W杯ロシア大会での日本代表の内幕がわかり、興味深かった。
- ◎親しげに話す語り口で、取材陣との距離感が近いことが感じられた。
- ◎時間軸が飛んでいる資料映像があり、関係性がわかりづらかった。特に女性や若い世代には理解されにくい。
- ◎W杯の開催年次と中村選手の所属チーム履歴の年表があれば分かりやすかった。
- ◎全体を通じて変化が少なく単調で冗長に感じた。
- ◎中村選手を語る周りの人の言葉があれば、人物像がもっと浮き彫りになった。
- ◎ナレーションに関して、「テンションがあり聴きやすかった」、「番組にあまりあっていなかった」と意見がわかれた。

第2部 「第2部の今後についての答申」を受けた2019年の事業、「再免許を受けた総務省からの要請」の伝達等について

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2019年1月17日（木）の予定です。